

1988/5/20

【第三種郵便物認可】

1954

# 私の履歴書

いわむら 英郎

19

リパブリックでの研修を二月で切り上げ、欧州に回ったが、そこで見たものは新しい製鋼技術である転炉だった。当時、製鋼だけとて見ると、米國よりも欧州のほうがずっと技術水準は高かった。

「もう、平炉の時代は終わりのつあるのではな

いかに」  
「そう思うが疑うばかりだった。だが、現実はこの切り替えにかなりの時間がかかってしまった。

## 転炉導入

「もう、平炉の時代は終わりのつあるのではな

いかに」  
「そう思うが疑うばかりだった。だが、現実はこの切り替えにかなりの時間がかかってしまった。

「もう、平炉の時代は終わりのつあるのではな

いかに」  
「そう思うが疑うばかりだった。だが、現実はこの切り替えにかなりの時間がかかってしまった。

## 精錬時間十分の一に

デッキに鈴なりの人「万歳」

「もう、平炉の時代は終わりのつあるのではな

いかに」  
「そう思うが疑うばかりだった。だが、現実はこの切り替えにかなりの時間がかかってしまった。

「もう、平炉の時代は終わりのつあるのではな

いかに」  
「そう思うが疑うばかりだった。だが、現実はこの切り替えにかなりの時間がかかってしまった。

「それ、クレーンだ」「鍋は」  
「もう、平炉の時代は終わりのつあるのではな

いかに」  
「そう思うが疑うばかりだった。だが、現実はこの切り替えにかなりの時間がかかってしまった。

「もう、平炉の時代は終わりのつあるのではな

いかに」  
「そう思うが疑うばかりだった。だが、現実はこの切り替えにかなりの時間がかかってしまった。

「もう、平炉の時代は終わりのつあるのではな

いかに」  
「そう思うが疑うばかりだった。だが、現実はこの切り替えにかなりの時間がかかってしまった。

「もう、平炉の時代は終わりのつあるのではな

いかに」  
「そう思うが疑うばかりだった。だが、現実はこの切り替えにかなりの時間がかかってしまった。

「もう、平炉の時代は終わりのつあるのではな

いかに」  
「そう思うが疑うばかりだった。だが、現実はこの切り替えにかなりの時間がかかってしまった。

「もう、平炉の時代は終わりのつあるのではな

いかに」  
「そう思うが疑うばかりだった。だが、現実はこの切り替えにかなりの時間がかかってしまった。

「もう、平炉の時代は終わりのつあるのではな

いかに」  
「そう思うが疑うばかりだった。だが、現実はこの切り替えにかなりの時間がかかってしまった。

「もう、平炉の時代は終わりのつあるのではな

いかに」  
「そう思うが疑うばかりだった。だが、現実はこの切り替えにかなりの時間がかかってしまった。

「もう、平炉の時代は終わりのつあるのではな

いかに」  
「そう思うが疑うばかりだった。だが、現実はこの切り替えにかなりの時間がかかってしまった。

「もう、平炉の時代は終わりのつあるのではな

いかに」  
「そう思うが疑うばかりだった。だが、現実はこの切り替えにかなりの時間がかかってしまった。

1962

1970

(川崎製鉄会長)